

平成25年行政事業レビューシート (環境省)								
事業名	大気汚染物質等健康影響評価事業費		担当部局庁	環境保健部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	環境安全課	牧谷 邦昭			
会計区分	一般会計		政策・施策名	7 環境保健対策の推進 7-4 環境保健に関する調査研究				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	現在国民の5～6人に1人が罹患するとも言われる花粉症について、花粉の飛散の仕方についての科学的な解明を行った上で、花粉飛散の予測情報をできるだけ早期かつ正確に、国民に広く提供する。 また、近年急速に飛散量が増大している黄砂について、日本における黄砂による健康影響等の科学的知見が不十分であることから調査研究を実施し、健康影響に関する知見の確立を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 花粉症について 花粉症についての基礎調査や花粉の飛散の仕方についての実態把握等を行い、その結果を基に、花粉総飛散量、飛散開始時期、花粉飛散終息時期等を予測し、一般に情報提供を実施する。 2. 黄砂について 黄砂による健康影響についての国内外の知見の収集を行うとともに、疫学調査等を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	30	24	24	23	23	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	30	24	24	23	23	
	執行額		26	24	22			
執行率 (%)		87%	100%	92%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	当事業は、花粉や黄砂についての情報収集及び研究を実施するほか、花粉飛散に係る予測を実施するものであるため、その成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。			成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	当事業は、花粉や黄砂についての情報収集及び研究を実施するほか、花粉飛散に係る予測を実施するものであるため、その活動実績を数値化して示すことは困難。			活動実績 (当初見込み)	( - )	( - )	( - )	( - )
単位当たりコスト	- (円/ )			算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	23	23					
	計	23	23					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>花粉症患者は年々増加傾向にあり、発症・増悪の予防に資するため、飛散の予測情報をできるだけ早期かつ正確に情報提供することについて、国民から大きな期待が寄せられている。</li> <li>近年、中国大陸から日本へ飛来する黄砂の頻度や被害が増加する懸念も高まっているが、一方、黄砂による健康影響については科学的知見が少なく、国民の関心が高い。</li> </ul>		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札により調査実施機関を選定。専門家の検討会に環境省職員が出席し、適宜、事業が適正に履行されたことを確認。</li> </ul>		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>花粉飛散動態モデルの作成、総飛散量・飛散開始時期・飛散終息時期の長期予測の公表するとともに、花粉症の発症のメカニズムや予防策等をとりまとめた花粉症保健指導マニュアルをホームページ上で公開している。</li> <li>黄砂による健康影響について国内外の知見を収集し、専門家により健康影響評価のための調査・研究のあり方を検討した上で、平成21年度より疫学調査を実施している。</li> </ul>		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>花粉観測システム(はなごさん)はリアルタイムの花粉飛散データを提供し、スギ花粉飛散開始マップは飛散開始日のみの情報提供を行っている。</li> </ul>		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	88	大気環境監視システム整備経費	環境省水・大気環境局			
点検結果	<p>花粉症については、花粉総飛散量や花粉飛散開始・終息時期の予測モデルの精緻化が進むとともに、新たに飛散ピーク時期の予測を実施する等の進捗があった。しかし、一部には予測精度が十分に高いとは言えないものもあり、今後更なる精緻化を進める必要がある。黄砂の健康影響については、知見の収集を進めるとともに、疫学的手法を用いた分析を行うためのデータの収集を行った。今後は、収集したデータに基づき、更に分析を行い調査研究を進める必要がある。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>これまでに収集したデータ等を踏まえ、予測モデルの精緻化及び健康影響への分析等を効率的に行うこと</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	<p>これまでに収集したデータ等を踏まえ、予測モデルの精緻化及び健康影響への分析等を効率的に行う。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	217	平成23年	216	平成24年	225	

環境省  
21.5百万円

花粉飛散量、時期等の予測、及び各種情報提供等に係る企画立案  
黄砂の健康影響に関する情報収集、文献調査等に係る企画立案

【一般競争】

A.NPO法人花粉情報協会  
18百万円

花粉症に関する調査・検討の実施

【一般競争】

B.(一社)環境情報科学センター  
3.5百万円

黄砂による健康影響に関する調査・検討

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.NPO法人花粉情報協会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		18	計		0
B.(一社)環境情報科学センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		1.5			
旅費	ワーキンググループ、報告会	1			
その他	一般管理費、謝金、書籍資料費、会場借上、資料等印刷	1			
計		3.5	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人花粉情報協会	花粉症に関する調査・検討	18	1	94%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)環境情報科学センター	黄砂による健康影響調査検討	4	2	67%